

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 極東貿易株式会社 上場取引所

東

コード番号 8093 者

(役職名) 代表取締役社長

URL https://www.kbk.co.jp (氏名) 岡田 義也

問合せ先責任者 (役職名)

経理部長

(氏名) 岡田 薫

(TEL) 03-3244-3558

半期報告書提出予定日

表

代

2025年11月13日

配当支払開始予定日

2025年12月8日

決算説明会開催の有無

:有

)

決算補足説明資料作成の有無

:有

(機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利	益	親会社株主 ける中間紅	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	31, 817	49. 5	1, 275	60. 1	1, 418	38. 9	937	22. 1
2025年3月期中間期	21, 277	5. 5	796	134. 7	1, 020	56. 5	767	64. 8
(注) 匀任到	日田田田田田	700 -5 -	EIII (A 30 004	.) ′	0025年2月期	九門邯	1 330五三四 /	A 22 204

(注)包括利益 2026年3月期中間期 /99百万円(△39.9%) 2025年3月期中間期 1,330百万円(△22.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2026年3月期中間期	77. 57	-
2025年3月期中間期	62. 29	_

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2026年3月期中間期	55, 792	29, 437	52. 8	2, 445. 98
2025年3月期	58, 010	29, 356	50. 6	2, 401. 99

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 29,437百万円

2025年3月期 29,356百万円

2. 配当の状況

- H-47 M/M						
	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	
2025年3月期	_	35. 00	_	35. 00	70. 00	
2026年3月期	_	35. 00				
2026年3月期(予想)			_	37. 00	72. 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主 する当期約	に帰属 神利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 62,000	% 17. 0	百万円 2, 200	% 7. 9	百万円 2, 350	% △6. 9	百万円 1, 700	% △54. 3	円 銭 140.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 2025年3月期に計上した負ののれん発生益の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益に対する、 2026年3月期連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益の増減率は7.6%であります。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) 一 、除外 1社(社名)ファーレ株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	12, 152, 736株	2025年3月期	12, 471, 836株
2026年3月期中間期	117, 651株	2025年3月期	250, 074株
2026年3月期中間期	12, 084, 451株	2025年3月期中間期	12, 329, 126株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 5ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	. 当中間決算に関する定性的情報
	(1) 経営成績に関する説明
	(2) 財政状態に関する説明
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2.	. 中間連結財務諸表及び主な注記
	(1) 中間連結貸借対照表6
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書8
	中間連結損益計算書
	中間連結包括利益計算書9
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項
	(継続企業の前提に関する注記)
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
	(会計方針の変更)
	(セグメント情報等)
	(収益認識関係)
	(企業結合等関係)
	(重要な後発事象)

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当社グループは、サステナブルな社会の実現と企業価値の向上を目指した中期経営計画「KBKプラスワン2025」の 最終年度を迎える中で、計画で掲げた戦略に沿って事業ポートフォリオの最適化を図ると共に、新規事業分野へリソ ースを配置するなど事業基盤の強化を進めてまいりました。その結果、連結業績は順調に改善しており、また、計画 していた総額50億円のM&A投資についても、昨年度に汎用プラスチック・エンジニアリングプラスチック事業を担っ ている株式会社三幸商会及び船舶補修部品事業を担っている株式会社ウエルストンの買収を実行し、それぞれ当社グ ループの連結業績に寄与しております。

当中間連結会計期間 (2025年4月~9月) の当社グループの業績は、売上高、営業利益共に前年同期比で大幅に伸長し、期初における当社の想定を上回って推移しました。昨年度にグループ入りした株式会社三幸商会及び株式会社ウエルストンの業績が寄与したことに加え、海外向けプラント機器事業、資源・計測機関連事業などが好調であったことにより増収増益となりました。また、営業外損益においては、持分法投資利益の増加などが寄与したことにより、経常利益も前年同期比で大きく伸長しました。さらに、前年同期に計上した減損損失が当期には発生しなかったことなどにより、特別損益が改善した結果、親会社株主に帰属する中間純利益も前年同期比で増益となりました。

当中間連結会計期間の業績結果は以下の通りです。

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	増減額
売上高	212億77百万円	318億17百万円	+105億40百万円
売上総利益	48億63百万円	58億37百万円	+ 9 億74百万円
営業利益	7億96百万円	12億75百万円	+ 4億78百万円
経常利益	10億20百万円	14億18百万円	+3億97百万円
親会社株主に帰属する 中間純利益	7億67百万円	9 億37百万円	+ 1 億69百万円

セグメント業績につきましては次のとおりであります。

産業設備関連部門

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	増減額	
売上高	57億1百万円	81億12百万円	+24億10百万円	
営業利益	2億95百万円	5 億23百万円	+ 2億27百万円	

産業インフラ関連事業では、海外プラント向け重電機器が昨年度に引き続き好調を維持しました。この他、資源掘削・探査関連事業に加え、航空宇宙・防衛関連事業も伸長しました。加えて、欧州地域におけるリチウムイオン電池事業は、需要の増加を背景に増益となりました。

産業素材関連部門

	2025年3月期	2026年3月期	1.克尔卡克	
	中間連結会計期間	中間連結会計期間	増減額	
売上高	68億18百万円	138億91百万円	+70億72百万円	
営業利益	1億40百万円	3億28百万円	+1億87百万円	

機能素材関連事業では、前年度に連結子会社化した汎用プラスチック・エンジニアリングプラスチック事業が業績に寄与しました。また、生活・環境関連事業においても、旺盛な需要を背景とした航空機向け接着剤の追加受注などにより、堅調に推移しました。

機械部品関連部門

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	増減額	
売上高	87億56百万円	98億14百万円	+10億57百万円	
営業利益	3億55百万円	4億18百万円	+63百万円	

精密ファスナー(ねじ類)関連事業は、引き続き堅調に推移したことに加え、前年度に連結子会社化した船舶補修部品事業の業績が寄与しました。特殊スプリング関連事業もコンストン(定荷重ばね)などの製品が貢献し、業績が改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当グループの当中間連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ22億17百万円減少し、557億92百万円となりました。その主な要因は、受取手形・売掛金及び契約資産が28億20百万円減少したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ22億98百万円減少し、263億55百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が48億84百万円減少したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、294億37百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が92百万円増加したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ50百万円増加し、84億90百万円となりました。増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、32億82百万円の収入(前年同期は2億61百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益15億76百万円を計上したこと、売上債権が26億3百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億34百万円の収入(前年同期は12億99百万円の収入)となりました。これは主に、定期預金の払戻しによる収入が3億46百万円あったこと、投資有価証券の売却による収入が2億39百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、33億62百万円の支出(前年同期は10億55百万円の支出)となりました。これは主に、借入金の返済による支出が50億54百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績予想の修正について)

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	丰 L 古	営業利益 経常利益		売上高 営業利益 経常	奴 告刊 光	親会社株主に帰属	1株当たり
	元 上尚	呂耒利鈕	产品利益	する当期純利益	当期純利益		
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭		
則四宪衣了怨(A)	57, 000	1,800	2, 100	1,600	129.85		
今回修正予想 (B)	62,000	2, 200	2, 350	1,700	140.68		
増 減 額 (B-A)	5, 000	400	250	100	ı		
増 減 率 (%)	8.8	22. 2	11.9	6. 3	ı		
(参考) 前期連結実績	F0, 000	0.000	2, 525	3, 717	201 00		
(2025年3月期)	52, 982	2, 038	2, 525	(1, 580)	301. 69		

カッコ内は、負ののれん発生益2,137百万円を除いた当期純利益

修正の理由

産業設備関連部門においては、海外プラント向け重電機器が昨年度に引き続き好調を維持いたしました。これに加え、資源掘削・探査関連事業や、航空宇宙・防衛関連事業も伸長しました。また、産業素材関連部門では、北米向け自動車部品用樹脂事業などが引き続き順調に推移しております。

これらより、通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みです。以上を踏まえ、通期連結業績の予想を上方修正するものであります。

(配当予想の修正について)

		1株当たり配当金				
	第2四半期末	期末	合計			
前回予想	円銭	円銭	円銭			
(2025年5月14日発表)	35. 00	35. 00	70.00			
今回修正予想	35. 00	37. 00	72.00			
(ご参考)	25.00	25.00	70.00			
前期実績(2025年3月期)	35. 00	35. 00	70. 00			

修正の理由

当社は、株主の皆様への継続的な成果の還元と、企業価値の持続的向上を実現するため、適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施することを利益配分の基本方針としております。この方針に基づき、2026年3月期からの配当につきましては、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う累進配当を採用し、その配当性向は50%を目安としております。

2026年3月期の連結業績につきましては、中間期までの実績が当初の予想を上回って堅調に推移していることなどを踏まえ、通期の業績予想を上方修正する見込みとなりました。

これに伴い、2026年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり35円00銭から37円00銭に修正いたします。これにより年間の配当は1株当たり72円00銭となる予定です。

上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実績の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	前連結会計年度	当中間連結会計期間
	(2025年3月31日)	(2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8, 834	8, 57
受取手形、売掛金及び契約資産	20, 891	18, 07
電子記録債権	3, 574	3, 49
商品及び製品	6, 749	6, 67
仕掛品	81	13
原材料及び貯蔵品	645	66
前渡金	1, 513	1,66
その他	1, 535	1, 64
貸倒引当金	△137	△13
流動資産合計	43, 688	40, 80
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1, 954	1, 97
減価償却累計額	△1, 349	△1, 36
建物及び構築物(純額)	604	61
機械装置及び運搬具	856	85
減価償却累計額	△688	△71
機械装置及び運搬具(純額)	168	14
工具、器具及び備品	1, 264	1, 21
減価償却累計額	△1,073	△1, 03
工具、器具及び備品(純額)	190	18
リース資産	74	7
減価償却累計額	△52	$\triangle 5$
リース資産 (純額)	21	1
使用権資産	351	35
減価償却累計額	△140	△14
使用権資産(純額)	211	20
土地	1, 301	1, 30
建設仮勘定	3	
有形固定資産合計	2, 501	2, 46
無形固定資産		
のれん	240	21
その他	201	20
無形固定資産合計	442	41
投資その他の資産		
投資有価証券	9, 405	10, 26
その他	1, 988	1, 84
貸倒引当金	△15	△1
投資その他の資産合計	11, 377	12, 10
固定資産合計	14, 321	14, 98
資産合計	58, 010	55, 79

1111	11.		_	-	`
(単	ATT	百	\vdash	ш	١

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12, 641	12, 250
電子記録債務	2,050	2, 217
短期借入金	6, 577	1,692
リース債務	117	124
未払法人税等	543	636
契約負債	1, 553	1, 751
賞与引当金	380	360
その他	937	815
流動負債合計	24, 801	19, 849
固定負債		
社債	100	1,700
長期借入金	731	1, 480
リース債務	120	103
長期未払金	65	60
退職給付に係る負債	1, 265	1, 225
繰延税金負債	1, 562	1,929
資産除去債務	6	6
固定負債合計	3, 852	6, 505
負債合計	28, 653	26, 355
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 496	5, 496
資本剰余金	7, 935	7, 935
利益剰余金	10, 760	10, 853
自己株式	△277	△151
株主資本合計	23, 914	24, 133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 709	3, 251
繰延ヘッジ損益	8	44
為替換算調整勘定	2, 707	1, 989
退職給付に係る調整累計額	16	18
その他の包括利益累計額合計	5, 441	5, 304
純資産合計	29, 356	29, 437
負債純資産合計	58, 010	55, 792

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	21, 277	31,817
売上原価	16, 413	25, 980
売上総利益	4, 863	5, 837
販売費及び一般管理費		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
役員報酬及び給料手当	1, 695	1, 884
従業員賞与	52	51
賞与引当金繰入額	206	271
退職給付費用	85	84
減価償却費	128	133
貸倒引当金繰入額	$\triangle 2$	5
その他	1, 900	2, 132
販売費及び一般管理費合計	4, 066	4, 562
営業利益	796	1, 275
営業外収益		
受取利息	51	33
受取配当金	210	196
持分法による投資利益	35	97
その他	19	42
営業外収益合計	317	370
営業外費用		
支払利息	20	52
社債発行費	_	40
為替差損	53	84
その他	18	49
営業外費用合計	93	226
経常利益	1, 020	1, 418
特別利益		
投資有価証券売却益	108	158
特別利益合計	108	158
特別損失		
減損損失	79	-
特別損失合計		-
税金等調整前中間純利益	1,050	1, 576
法人税、住民税及び事業税	312	577
法人税等調整額	△27	61
法人税等合計	284	639
中間純利益	765	937
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△2	
親会社株主に帰属する中間純利益	767	937

中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	765	937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△285	542
繰延ヘッジ損益	$\triangle 14$	36
為替換算調整勘定	772	△664
退職給付に係る調整額	15	1
持分法適用会社に対する持分相当額	77	△53
その他の包括利益合計	565	△137
中間包括利益	1, 330	799
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1, 333	799
非支配株主に係る中間包括利益	$\triangle 2$	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1, 050	1, 57
減価償却費	180	19
減損損失	79	
のれん償却額	-	2
持分法による投資損益(△は益)	△35	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 2$	\triangle
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△47	∆3
受取利息及び受取配当金	△262	△23
支払利息	20	5
投資有価証券売却損益(△は益)	△108	△15
契約負債の増減額 (△は減少)	△261	20
売上債権の増減額(△は増加)	$\triangle 1,598$	2, 60
棚卸資産の増減額 (△は増加)	$\triangle 1,427$	△16
前渡金の増減額 (△は増加)	732	△15
未収入金の増減額 (△は増加)	249	$\triangle 33$
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	157	24
仕入債務の増減額 (△は減少)	1, 971	△14
未払金の増減額(△は減少)	△61	$\triangle 7$
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△329	Δ1
その他	$\triangle 1$	{
小計	288	3, 56
利息及び配当金の受取額	228	25
利息の支払額	△19	$\triangle \xi$
法人税等の支払額	△236	△48
営業活動によるキャッシュ・フロー	261	3, 28
と資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△343	$\triangle 4$
定期預金の払戻による収入	1, 628	34
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 2$	
投資有価証券の売却による収入	121	23
固定資産の取得による支出	△115	$\triangle 12$
固定資産の売却による収入	2	
差入保証金の増減額(△は増加)	4	
子会社の清算による収入	10	
その他	$\triangle 7$	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1, 299	43

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2024年4月1日	(自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△268	△5, 054
長期借入れによる収入	300	1, 100
長期借入金の返済による支出	△333	△170
社債の発行による収入	-	1,559
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	△302
配当金の支払額	△688	$\triangle 422$
その他	△65	$\triangle 72$
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u></u>	△3, 362
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	△303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	682	50
現金及び現金同等物の期首残高	7, 065	8, 439
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,747	8, 490

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年2月13日付の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間にて自己株式201,300株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が302百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年2月13日及び2025年9月22日付開催の取締役会決議に基づき、2025年9月30日付で自己株式319,100株を消却いたしました。これにより、当中間連結会計期間において、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ409百万円減少しております。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

上記を含む取得及び消却等の結果、当中間連結会計期間末の資本剰余金の残高は7,935百万円、利益剰余金の 残高は10,853百万円、自己株式の残高は151百万円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				中間連結	
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計	調整額 (注) 1	損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
商品の販売等に係る収益	4, 765	5, 959	8, 754	19, 479	_	19, 479
サービス等に係る収益						
仲介手数料	436	838	2	1, 277	_	1, 277
その他サービスに係る 収益	499	20	_	520	_	520
顧客との契約から生じる 収益	5, 701	6, 818	8, 756	21, 277	_	21, 277
外部顧客への売上高	5, 701	6, 818	8, 756	21, 277	_	21, 277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	101	349	484	△484	_
計	5, 735	6, 919	9, 106	21, 761	△484	21, 277
セグメント利益	295	140	355	792	4	796

- (注) 1 セグメント利益の調整額4百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。
 - 2 セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

各報告セグメントに分配していない全社資産に含まれる保養所については、売却の意思決定を行ったこと及び 市場価額が著しく下落していたことから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別 損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は当中間連結会計期間においては79百万円であります。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					中間連結
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計	調整額 (注)1	損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
商品の販売等に係る収益	7, 312	13, 424	9, 810	30, 547	_	30, 547
サービス等に係る収益						
仲介手数料	350	463	3	818	_	818
その他サービスに係る 収益	449	2	_	452	_	452
顧客との契約から生じる 収益	8, 112	13, 891	9, 814	31, 817	_	31, 817
外部顧客への売上高	8, 112	13, 891	9, 814	31, 817	_	31, 817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	220	288	522	△522	_
計	8, 126	14, 111	10, 102	32, 340	△522	31, 817
セグメント利益	523	328	418	1, 270	4	1, 275

- (注) 1 セグメント利益の調整額4百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。
 - 2 セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
産業設備関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、 検査装置、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器、電子機器、電子部品及び ソフトウェア、計装制御システム、地震・振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、 航空機用機材、航法装置などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食品加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、 エンジニアリングプラスチック、樹脂、塗料、溶射材、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品などを販売
機械部品関連部門	精密ファスナー (ねじ類) および関連機械器具工具、船舶補修部品、定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種 ばね類などを販売

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(収益認識関係)

(1) 収益の分解

当グループは、本社に製品・グループ別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて 国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産業設備関連部門」、「産業素材関連部門」及び「機械部品関連部門」の3つの事業本部で計上される収益を「売上高」として表示しています。

事業本部別の収益は「(セグメント情報等) 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりです。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年10月1日に行われた株式会社三幸商会との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。なお、前連結会計年度において暫定的に算定された負ののれんの金額に変動はありません。

2024年11月1日に行われた株式会社ウエルストンとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。なお、前連結会計年度において暫定的に算定されたのれんの金額に変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。